

ジャパンオープン車イスアーム大会レポート 文 仲博幸

頸損の部

75 kg 級 レフトハンドは中西勇一郎(神戸)VS 池口智里(神戸)との対決となり本線は池口がねばり勝ちしました。決勝では中西が2本続けて池口に勝利し逆転優勝となりました。ライトハンドは土居本剛史(香川)VS 池口との対決となり本線・決勝共に土居本の余裕勝ちとなりました。

75 kg 超級 このクラスはここ10年近く連勝を続けている森脇隆(佐用)が圧倒的に強く、レフトハンド池口・ライトハンド土居本を全く寄せ付けず勝利しました。

胸損の部

75 kg 級 レフトハンドは池田斉(愛媛)VS 坂井孝行(明石)の対決となり。池田のパワーが坂井を上回りました。3位にはこの大会の常連選手斉藤勝明(明石)が入りました。ライトハンドは池田 VS 浅野高弘(徳島)の対決となり、両者五分五分の熱戦が続きましたがスタミナに優る池田がねばり勝ちしました。3位には坂井、以下4位中西、5位斉藤、6位武田達也(南あわじ)となりました。

75 kg 超級 レフトハンドは山下修司(福岡)VS 原田茂雄(たつの)の対決となり、ストラップ戦で前半原田が有利に押すもねばり負けし山下の勝利となりました。3位には榊原信敏(愛知)、4位瀬戸山龍太郎(西宮)となりました。ライトハンドは山下 VS 瀬戸山の対決となり実力を発揮した山下が瀬戸山に勝利しました。3位には榊原、4位池田、5位原田となりました。

女子胸損の部 レフトハンド・ライトハンドともに森井あゆみ(神戸)VS 内海春枝(姫路)の対決となり森井が強く勝利しました。昨年度チャンプの内海は健闘むなしく敗れました。

ふれあいの部 レフトハンドには井手直哉(西宮)ライトハンドには藤縄武(宝塚)が出場、両者に瀬戸山・斉藤が挑みました。レフトハンド井手は今年も苦しみましたがねばり抜き、最後はおたけびをあげ、見事勝利しました。2位には瀬戸山、3位斉藤となりました。ライトハンド藤縄は全力を尽くしましたがスタミナ切れとなり、瀬戸山の優勝となりました。3位には斉藤が入りました。